

成田浄化センター整備・運営事業

審査講評

令和5年3月

成田浄化センター整備事業者選定委員会



# 目 次

## 第1章 事業概要

1. 事業名称	1
2. 施設の概要等	1
3. 事業期間	1
4. 事業方式	1
5. 事業範囲	1

## 第2章 審査方法等

1. 選定委員会の設置	2
2. 最優秀提案者の選定（入札の方法）	3
3. 落札者選定までの経過	3
4. 落札者選定の手順	4
5. 選定委員会の開催経過	5
6. 審査手順	5

## 第3章 最優秀提案者選定結果

1. 資格審査	8
2. 提案書の基礎審査	8
3. 提案書の定量化審査及び提案書に関するヒアリング	8
4. 入札価格の定量化評価	11
5. 総合評価値の算出	11
6. 最優秀提案者の選定	11

## 第4章 総評



## 第1章 事業概要

### 1. 事業名称

成田浄化センター整備・運営事業

### 2. 施設の概要等

施設概要	
施設名称	成田浄化センター
施設所管	成田市
所在地	千葉県成田市吉倉127番地1（成田浄化センター敷地内）
敷地面積	約18,431 m <sup>2</sup>
計画処理能力	83KL/日（し尿：7KL/日、浄化槽汚泥：76KL/日（農業集落排水汚泥=有機性廃棄物0.8KL/日含む））
処理方式	水処理設備：浄化槽汚泥混入比率の高い脱窒素処理方式
	資源化設備：汚泥助燃剤化方式
都市計画区域	市街化調整区域

### 3. 事業期間

- (1) 事業期間：特定事業契約～令和22年9月30日（予定）までの約17年6か月間とする。
- (2) 設計・建設期間：令和5年3月9日～令和7年9月30日（予定）
- (3) 運転・維持管理期間：令和7年10月1日（予定）～令和22年9月30日（予定）までの施設供用開始後15年間とする。

### 4. 事業方式

成田浄化センター整備・運営事業（以下「本事業」という。）は成田浄化センター（以下「本施設」という。）の設計・建設及び15年間の運転・維持管理に係る業務を事業者が一括して行うDBO（Design：設計、Build：建設、Operate：運営）方式により実施する。

成田市（以下「本市」という。）は本施設の設計・建設及び15年間の運転・維持管理に係る資金を調達し、所有する。

なお、本施設の設計・建設については、循環型社会形成推進交付金の対象事業として実施する予定である。

また、本市は本施設を30年以上にわたって使用する予定であり、事業者は30年以上の使用を前提として本事業を行うこととする。

### 5. 事業範囲

事業者が行う主たる業務範囲は次のとおり。

#### (1) 設計・建設業務

更新施設の設計・施工

（敷地内地元管理組合管理棟、車庫・倉庫棟の移設、撤去、試運転及び性能試験含む）

(2) 運転・維持管理業務

① 運営管理業務

搬入・搬出、調達、ユーティリティー等収支管理、モニタリング

② 運転管理業務

設備機器操作

③ 維持管理業務

清掃・保守・点検、補修・整備

④ 環境管理業務

水質分析、臭気・騒音・振動測定等環境測定、モニタリング

⑤ 情報管理業務

日常運転管理記録データ、収支データ、設備機器データ等の記録、保管管理

⑥ その他管理業務

見学者その他第三者対応、スケジュール管理等

※ 事業期間終了時の取扱い

事業期間終了に伴い、本市又は市の指定する者への業務引継ぎなどが必要となる場合は、原則として本事業期間内に引継ぐこととし、事業者は、自らの責任により本事業が円滑に引き継がれるよう適切な対応を行うことを条件としている。

## 第2章 審査方法等

### 1. 選定委員会の設置

事業者の選定では、技術提案図書等の審査について、設計・施工、運営・管理等の提案内容、要求水準への適合性並びに事業計画の妥当性・確実性等を、透明性及び公平性を確保しつつ、専門的知見に基づく審査・評価を行うことを目的に、学識経験者を含めて「成田浄化センター整備事業者選定委員会（以下「選定委員会」という。）を設置し、審査を行った。

選定委員会の構成員は表-1のとおりである。

表-1 選定委員会委員

	氏名	所属・役職
委員長	関根 賢次	成田市 副市長
副委員長	岩沢 宏樹	成田市 環境部長
委員	瀧 和夫	千葉工業大学 名誉教授
委員	濱田 雅巳	公益社団法人 全国都市清掃会議 技術指導部長
委員	藤村 葉子	元千葉県環境研究センター 廃棄物・化学物質研究室長
委員	木下 敬	成田市 企画政策部長
委員	篠塚 岳史	成田市 財政部長

## 2. 最優秀提案者の選定（入札の方法）

成田浄化センター整備・運営事業の入札方法は、地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の10の2に規定する総合評価一般競争入札方式により実施した。その事務の中で選定委員会では、最優秀提案者の選定までを実施した。

## 3. 落札者選定までの経過

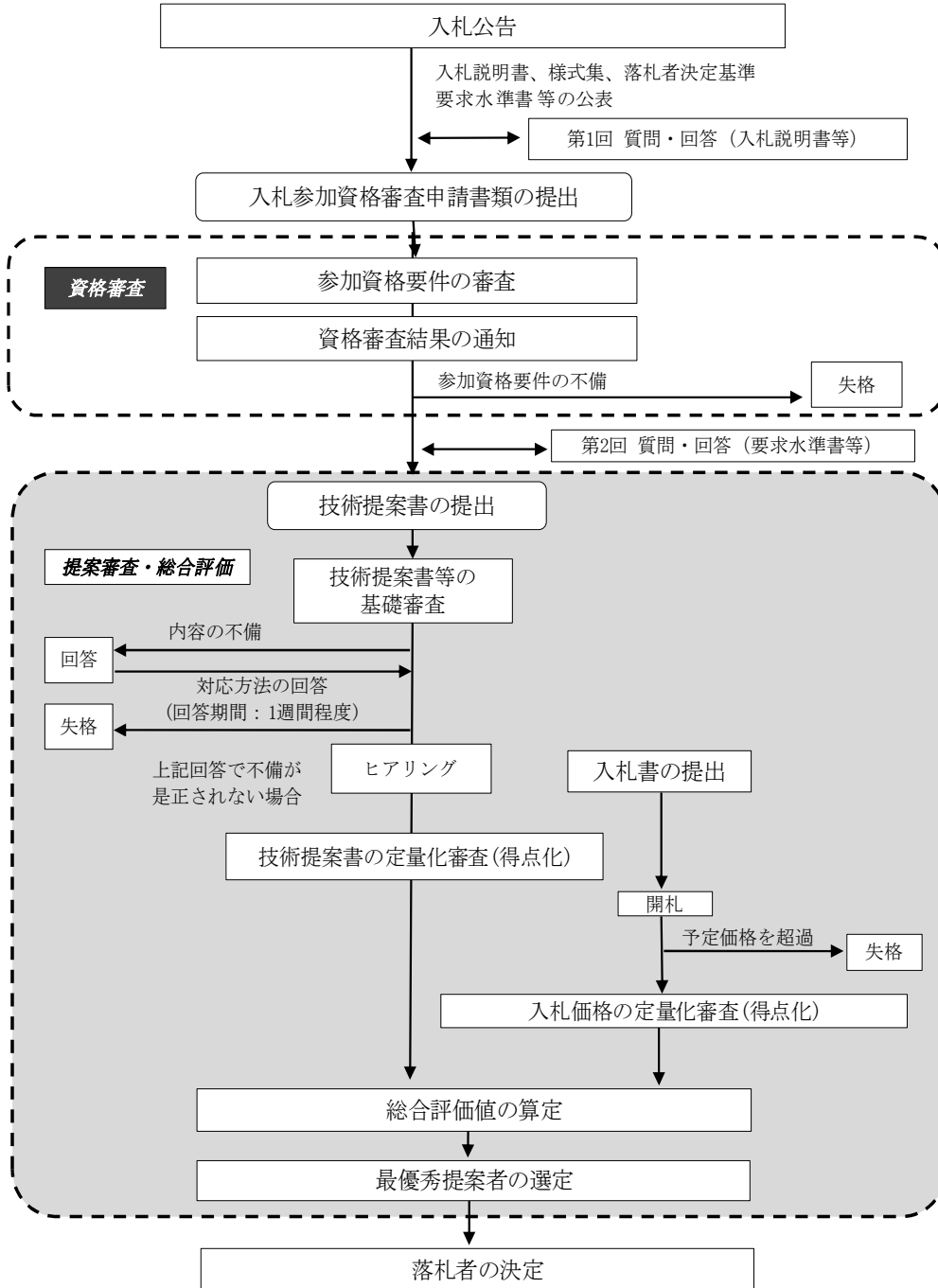
本事業における落札者選定までの経過は表-2のとおりである。

表-2 落札者選定までの経過

No.	日付	項目
①	令和4年8月19日（金）	入札公告及び募集要項の公表
②	令和4年8月29日（月） から令和4年8月30日（火）	入札説明書等に関する質問受付（第1回）
③	令和4年9月6日（火） 公表	入札説明書等に関する質問の回答（第1回）
④	令和4年8月29日（月） から令和4年8月30日（火）	現地見学会参加申請書の受付
⑤	令和4年9月7日（水）	現地見学会
⑥	令和4年9月14日（水） から令和4年9月15日（木）	参加表明書、参加資格審査書類の受付
⑦	令和4年9月22日（木）	参加資格審査結果の通知
⑧	令和4年9月28日（水） から令和4年9月29日（木）	要求水準書等に関する質問受付（第2回）
⑨	令和4年10月6日（木） 公表	要求水準書等に関する質問の回答（第2回）
⑩	令和4年11月29日（火） から令和4年11月30日（水）	技術提案書及び設計図書（技術提案図書）の受付
⑪	令和4年12月23日（金）	基礎審査結果通知
⑫	令和5年1月23日（月）	ヒアリング、入札 （技術提案及び価格の定量化、落札者決定）
⑬	令和5年1月下旬	落札者の通知
⑭	落札者決定後速やかに	基本協定の締結
⑮	落札者決定後速やかに	基本契約の締結
⑯	令和5年3月（議会承認後）	本契約の締結

#### 4. 落札者選定の手順

落札者選定の手順は次の図-1のとおりである。



※ 最優秀提案者を選定する委員会の事務は図中網掛けの範囲

図-1 落札者選定の手順



## 5. 選定委員会の開催経過

本事業の事業者選定における選定委員会の開催経過は表-3のとおりである。

表-3 選定委員会の開催経過

日 付	審議・審査内容
令和4年7月14日（木）	第1回選定委員会 ・成田浄化センター整備・運営事業実施方針（案） ・整備事業の概要 ・事業の進め方、手続きフロー及びスケジュール
令和4年8月9日（火）	第2回選定委員会 ・特定事業の選定（案） ・入札説明書（案） ・要求水準書（案）【設計・建設業務編】 ・要求水準書（案）【運転・維持管理業務編】 ・落札者決定基準（案） ・その他（様式集（案）、基本協定書（案）、基本契約書（案）、建設工事請負契約書（案）、運転・維持管理業務委託契約書（案））
令和4年12月20日（火）	第3回選定委員会 ・技術提案図書内容 ・ヒアリング事前質問事項
令和5年1月23日（月）	第4回選定委員会 ・事業者ヒアリング ・非価格要素点（技術点）の定量化審査 ・入札価格の定量化審査 ・総合評価値の算定 ・最優秀提案者の選定
令和5年3月28日（火）	第5回選定委員会 ・審査講評の審議

## 6. 審査手順

### (1) 参加資格審査

参加資格審査は、入札参加者から提出された参加表明書及び参加資格審査申請書等により、入札説明書に記載の入札参加者の備えるべき参加資格要件を満たしていることを事務局において確認した。

### (2) 提案審査

#### ア 提案書の形式審査

提案書の形式審査では、提案書に記載された内容が、次に掲げる基礎審査項目を満たしていることを確認した。

- ① 入札説明書で示した提案書類等が揃っていること。
- ② 提案書の内容が要求水準書に示す要求水準を満たしていること。
- ③ 入札説明書及び様式集に示す提案書の作成に関する条件について違反のないこと。
- ④ 提案書等全体について、同一事項に対する2通り以上の提案又は提案事項間の齟齬、矛盾等が無いこと。

## イ 技術提案書の定量化審査

### ① 提案書の審査項目及び配点

選定委員会は、提案書等に記載された内容について、表-4に示す評価項目及び配点を設定し、評価を行った。

本事業では、民間事業者のノウハウを生かしたし尿等処理サービスの効率化を図り、資源の有効利用に配慮した循環型社会構築に貢献できる施設とすることから、技術点を重視した評価を行うものとした。

よって、配点は、技術提案書の審査点を60点（全体100点）とした。

提案書の評価項目及び配点は表-4のとおり。

表-4 提案書の評価項目及び配点

評価項目		評価の視点	配点
【全体】 基本的事項	事業方針 処理システム	・本市の事業実施方針に適合しているか。 ・事業実施上の配慮・工夫、処理システムの特徴、量的質的変動への対応等が提案されているか。	4
	公害防止対策	・周辺環境への負荷低減にあたり、騒音、振動、悪臭についての具体的提案がされているか。	4
	地球環境保全	・本市が宣言したゼロカーボンシティに対する提案がされているか。 ・省資源、省エネルギー対策が盛り込まれているか。 ・SDGsの考え方がされているか。	5
	安全性、 災害対策	・地震、豪雨等自然災害等への対策、企業としての取組み（BCP）が提案されているか。 ・災害時における市・地域との協働等具体的計画案が提示されているか。	4
【設計・ 建設業務】	全体計画	・全体配置計画（諸室配置、車両動線、敷地の有効利用、意匠等）について、効率的な配置、安全への配慮等が提案されているか。	5
	機器配置、 室内動線 等	・運転員の作業スペースや動線、地元管理組合への配慮、安全性、ユニバーサルデザイン等が提案されているか。	4
	施工	・工事实施体制は適切か。 ・既存施設の運転に配慮した計画が提案されているか。	5
	安全対策	・工事期間中の具体的安全対策が提案されているか。	3
	地域貢献	・設計・建設工事に関して、市内・県内企業等との協力・連携や地域経済への貢献等が考えられているか。	5
【運転・ 維持管理業務】	運営・管理体制	・施設の安定稼働を継続する適切な運営・管理体制が提案されているか。 ・業務の効率化、構成企業によるサポート体制等、SPCによる安定的な長期収支計画が提案されているか。	4
	運転・管理方法	・安定的な施設の運転管理方法、リスク管理、セルフモニタリング等が提案され、質の高いサービス提供としているか。 ・各種データのデジタル化、運転員の人材教育等について提案されているか。	5
	施設保全	・施設は30年以上使用することを念頭に、各設備の適切な保全方法が提案されているか。 ・事業期間終了前の施設保全計画が提案されているか。	5
	見学者対応	・施設見学者への案内、説明コンテンツ、安全確保等について、本市への協力内容が具体的に計画されているか。	2
	地域貢献	・運転・維持管理期間を通じた地域経済への貢献（地元雇用、地元企業との取引）等が考えられているか。	5
技術評価点 計			60

② 技術提案書の定量化審査に関する得点化方法

提案を求めている審査項目について、表-5に示す5段階評価により審査を行い、各委員が個別に行った評価の平均値により得点化を行った。

なお、選定委員会は、最終的な審査を下す前に、提案書に関するヒアリングを実施し、提案内容の確認を行った。

表-5 審査基準及び得点化方法

評価	評価基準	点数化方法
A	提案内容が非常に優れており、かつ、その効果が期待できる。	配点×1.00
B	提案内容が優れており、かつ、その効果が期待できる。	配点×0.75
C	提案内容の効果が期待できる。	配点×0.50
D	提案内容の効果が期待できる程度。	配点×0.25
E	要求水準を満たしている程度。	配点×0.00

ウ 入札価格の定量化審査

入札価格の定量化審査においては、提案価格について表-6入札価格の得点算定式により、入札価格を構成する設計・建設業務に係る対価及び運転・維持管理業務に係る対価の合計額を得点化した。

表-6 入札価格の得点算定式

入札価格の得点算定式	
(1) 入札価格 ≤ 定量化限度額である場合	価格評価点 = 満点 (40点)
(2) それ以外の価格提示額である場合	価格評価点 = 配点 (40点) - {(入札価格 - C) × (20 ÷ (A - C))}
「落札者決定基準」での条件	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案上限額を設ける(提案上限額は20点とする。) - A</li> <li>・査定率を設ける(査定率は非公開とする。) - B</li> <li>・提案上限額 × 査定率を基準額とする。 - C</li> <li>・定量化限度額を設ける。</li> <li>・「公共工事の品質確保の促進に関する法律」に鑑み、低入札価格失格基準を設ける。</li> </ul>	

エ 総合評価値の算出

表-7に示す算定式により、各入札参加事業者の総合評価値を算出する。

表-7 総合評価値の算出方法

$$\left[ \begin{array}{c} \text{当該入札参加者の} \\ \text{総合評価値} \end{array} \right] = \left[ \begin{array}{c} \text{技術提案書の} \\ \text{定量化評価点} \end{array} \right] + \left[ \begin{array}{c} \text{入札価格の} \\ \text{定量化評価点} \end{array} \right]$$

※総合評価値：100点満点（技術点：60点満点、価格点：40点満点）

### 第3章 最優秀提案者選定結果

#### 1. 資格審査

令和4年8月19日に入札公告を行い、令和4年9月15日まで参加表明書及び資格申請書類を受け付けたところ、以下のグループから申請があった。

事務局では、参加資格の確認を行い、令和4年9月22日に2グループの代表企業に対し、参加資格を有することを書面にて通知した。

表-8 参加表明書及び資格申請書類等提出グループ

グループ名	あかグループ	あおグループ
代表企業	日立造船株式会社 東京本社	水ingエンジニアリング 株式会社首都圏支店
構成員	浅野アタカ株式会社	水ingAM株式会社 首都圏支店
協力企業	株式会社中央設備 株式会社大英電業社 東邦建設株式会社	株式会社ナリコー

なお、選定委員会による審査にあたっては、審査の公平性を期すため、提案書等すべての書類において入札参加者の企業名は伏せ、表-8のグループ名で識別し審査を行った。

#### 2. 提案書の基礎審査

令和4年11月30日に入札参加資格を有する2グループより技術提案提出書類が提出された。

提出された技術提案提出書類をもとに、基礎審査項目に沿って基礎審査を行った。

技術提案提出書類を提出した2グループは、いずれも成田市が要求する水準を満足していること等が確認されたため、基礎審査に合格していると認められた。

#### 3. 提案書の定量化審査及び提案書に関するヒアリング

選定委員会は、令和5年1月23日に提案書の定量化審査を行った。

審査に際しては、技術提案書に関する入札参加者による説明（プレゼンテーション）及び委員による提案内容に対する質疑（ヒアリング）を実施し審査を行った。

定量化審査の審査項目について、適切な提案であるか審査を行い、技術提案書に関する表-4による得点化を行った。

審査結果を次の表-9に示す。

表-9 技術提案書の定量化審査の得点結果

分類	評価項目	評価の視点	配点	評価点	
				あかグループ	あおグループ
【全体】 基本的事項	事業方針 処理システム	・本市の事業実施方針に適合しているか。 ・事業実施上の配慮・工夫、処理システムの特徴、量的質的変動への対応等が提案されているか。	4	2.9	3.0
	公害防止対策	・周辺環境への負荷低減にあたり、騒音、振動、悪臭についての具体的提案がされているか。	4	2.7	2.7
	地球環境保全	・本市が宣言したゼロカーボンシティに対する提案がされているか。 ・省資源、省エネルギー対策が盛り込まれているか。 ・SDGsの考え方がされているか。	5	3.4	3.8
	安全性、 災害対策	・地震、豪雨等自然災害等への対策、企業としての取組み(BCP)が提案されているか。 ・災害時における市・地域との協働等具体的計画案が提示されているか。	4	2.3	2.4
【設計・ 建設業務】	全体計画	・全体配置計画(諸室配置、車両動線、敷地の有効利用、意匠等)について、効率的な配置、安全への配慮等が提案されているか。	5	3.4	3.8
	機器配置、 室内動線 等	・運転員の作業スペースや動線、地元管理組合への配慮、安全性、ユニバーサルデザイン等が提案されているか。	4	2.4	2.6
	施工	・工事实施体制は適切か。 ・既存施設の運転に配慮した計画が提案されているか。	5	3.4	3.4
	安全対策	・工事期間中の具体的安全対策が提案されているか。	3	2.2	2.0
	地域貢献	・設計・建設工事に関して、市内・県内企業等との協力・連携や地域経済への貢献等が考えられているか。	5	3.8	3.4
【運転・ 維持管理業務】	運営・管理体制	・施設の安定稼動を継続する適切な運営・管理体制が提案されているか。 ・業務の効率化、構成企業によるサポート体制等、SPCによる安定的な長期収支計画が提案されているか。	4	2.6	2.3
	運転・管理方法	・安定的な施設の運転管理方法、リスク管理、セルフモニタリング等が提案され、質の高いサービス提供としているか。 ・各種データのデジタル化、運転員の人材教育等について提案されているか。	5	3.4	3.4
	施設保全	・施設は30年以上使用することを念頭に、各設備の適切な保全方法が提案されているか。 ・事業期間終了前の施設保全計画が提案されているか。	5	3.2	3.2
	見学者対応	・施設見学者への案内、説明コンテンツ、安全確保等について、本市への協力内容が具体的に計画されているか。	2	1.1	1.1
	地域貢献	・運転・維持管理期間を通じた地域経済への貢献(地元雇用、地元企業との取引)等が考えられているか。	5	3.8	3.4
技術評価点 計			60	40.6	40.5

表-10 各審査項目の講評

審査項目		講評
【全体】 基本的事項	事業方針 処理システム	・両グループ共、前脱水・生物処理・膜分離のシステムであり、質的・量的変動への対応が可能である点を評価した。
	公害防止対策	・両グループ共、施設からの騒音、振動、悪臭について具体的提案がされており評価した。
	地球環境保全	・両グループ共、既存施設と比較した新施設のCO2削減量を提示しており、本市が宣言したゼロカーボンシティに対する具体的提案がされており評価した。 ・あかグループの再生可能エネルギー活用の提案を評価した。
	安全性、 災害対策	・両グループ共、自然災害等への対策、企業としての取組み(BCP)が提案され、災害時における市・地域との協働等具体的計画案が提示されており評価した。
【設計・建設業務】	全体計画	・両グループ共、車両動線の交錯を避けた安全性の高い提案となっており評価した。 ・あかグループはさらに車両事故低減策を提案している点を評価した。
	機器配置、 室内動線 等	・両グループ共、運転員作業スペースや動線、地元管理組合への配慮、安全性、ユニバーサルデザイン等が提案されている点を評価した。
	施工	・両グループ共、工事实施体制に問題はなく、適切と判断できる。
	安全対策	・両グループ共、既存施設からの十分な離隔距離を確保しており評価した。
	地域貢献	・両グループ共、設計・建設工事に関して、市内・県内企業等との協力・連携や地域経済への貢献等の提案があり評価した。 ・あかグループは市内協力企業の具体的な提案があり、実効性・実現性のある点を評価した。また、地域社会の一員として社会貢献活動への参加など、地域との協働に係る提案を評価した。
【運転・維持管理業務】	運営・管理体制	・両グループ共、5名体制による運転が示され、代表企業のサポートによる運営・管理体制が提案されており評価した。 ・あかグループは実績に基づき事業リスクを評価し、手厚い資金確保等に配慮している点を評価した。
	運転・管理方法	・両グループ共、安定的な施設の運転管理方法、リスク管理、セルフモニタリング等が提案され、質の高いサービス提供を提案しており評価した。 ・各種データのデジタル化、運転員の人材教育等についても代表企業のサポートが提案され、評価した。
	施設保全	・両グループ共、予防保全を前提に各設備の保全、適切な長寿命化が提案されており評価した。 ・事業期間終了前の主要設備集中整備等も提案されており、評価した。
	見学者対応	・両グループ共、施設見学者への案内、説明コンテンツ、安全確保等について具体的提案がされており評価した。
	地域貢献	・両グループ共、運転・維持管理期間中の地域経済への貢献(地元雇用、地元企業との取引)等が提案されており評価した。 ・あかグループの地元人材雇用の拡大に向けた具体的な計画の提案を評価した。

#### 4. 入札価格の定量化評価

技術委提案書の定量化審査の得点確定後に、ヒアリング前に提出した各入札参加者の入札書を、選定委員会委員立会いのもとで開札し、予定価格の範囲内であることを確認し、入札価格の定量化審査に関する得点化結果を確認した。

入札価格の定量化審査に関する得点化算定結果を表-11に示す。

なお、入札価格の定量化審査に関する得点化については、表-12に示す得点化算定条件等に基づいている。

表-11 入札価格の定量化審査に関する得点化算定結果

(税込)

		あかグループ	あおグループ
代表企業		日立造船株式会社 東京本社	水ingエンジニアリング 株式会社首都圏支店
設計・建設業務	(円)	3,883,000,000	4,314,200,000
運営・維持管理業務	(円)	2,860,000,000	2,461,800,000
入札価格		(円) 6,743,000,000	(円) 6,776,000,000
定量化審査による得点		(点) 36.0	(点) 34.0

表-12 得点化算定条件

(税込)

予定価格	(円)	7,186,975,000
提案上限額	(円)	7,036,049,000
基準額	(円)	6,684,246,000
定量化限度額	(円)	6,216,349,000

#### 5. 総合評価値の算出

令和5年1月23日に定量化審査により算出した「提案書の定量化審査の得点」に、「入札価格の定量化審査の得点」を加算して総合評価値を算出した。

総合評価値の算出結果を表-13に示す。

表-13 総合評価値の算出結果

		あかグループ	あおグループ
代表企業	配点	日立造船株式会社 東京本社	水ingエンジニアリング 株式会社首都圏支店
技術評価点	60点	40.6 点	40.5 点
価格評価点	40点	36.0 点	34.0 点
総合評価点	100点	76.6 点	74.5 点

#### 6. 最優秀提案者の選定

選定委員会は、総合評価値の算出結果に基づき、「あかグループ（代表企業：日立造船株式会社）」を最優秀提案者として選定した。

## 第4章 総評

成田浄化センター整備・運営事業の事業者選定においては、民間事業者の知見を最大限活用することにより性能を十分に発揮させ、効率的及び安定的かつ安全な運転を目的に DBO 方式による設計・建設及び 15 年間の運転・維持管理業務の総合評価一般競争入札による事業者の選定を実施した。

今回、入札に参加した 2 者が技術提案書を提示し、入札に臨み、選定委員会が審査を行った。

提出された技術提案書の内容は、本件施設の運営状況を十分理解した上で、独自運営ノウハウや工夫を凝らした技術的知見が盛り込まれており、要求水準を十分満足する内容であった。

本選定委員会では、提案書及び入札価格に対して、厳正かつ公平に審査を行った結果、「あかグループ（代表企業：日立造船株式会社）」を最優秀提案者として選定した。

提案については、類似施設の建設・運営実績が多数あり、安定した提案内容であった。特に環境影響に配慮した滅菌処理における独自提案がなされていた。

また、「運営・管理体制」や、「地域貢献」の項目等で高評価であった。

選定委員会の審査において、上記事項を評価する一方、同グループの提案内容に対しては、以下に示す配慮・要望等が挙げられた。

- ① 提案された CO2 削減量（目標）を遵守し、環境負荷低減に寄与する施設運営を行うこと。
- ② 施設計画においては、既存施設の運転管理会社や地元管理組合の意見を十分把握した上で、計画段階から信頼関係を構築すること。
- ③ 配置計画では、現状形質の変更に係る関係機関協議を遅滞なく進め、災害発生要因低減に努めること。
- ④ 工事期間中は、近隣施設利用者、通行者、通行車両の安全に配慮のこと。
- ⑤ 業務期間中（設計・建設業務、運転・維持管理業務）は地元発注、地元資材活用、地元雇用等の推進を図り、提案した地元貢献額を遵守のこと。
- ⑥ 運転・維持管理業務期間中は、公害防止対策に努め、出入り口や搬出入扉、開口部開閉時等、周辺に配慮した意識を持って運転管理を行うこと。
- ⑦ 運転・維持管理業務では、適正な運営管理状況であることを第三者を交え示すこと。
- ⑧ 運転・維持管理業務期間中の薬品使用量の低減に努めること。
- ⑨ 提案にある災害時対応を確実に履行すること。
- ⑩ 業務期間中（設計・建設、運転・維持管理）に取扱う情報・データ等は、基本的に市の所有という認識を持ち取扱い、保管・管理すること。

前記配慮・要望等事項について、提案及び契約の公平性を妨げない範囲において本事業をより良いものとするために本市と十分な協議を行い、真摯な対応に努め、今後の事業期間にわたり質の高い公共サービスが提供され、同グループが良きパートナーとなり、地域との信頼関係を築きながら本事業が円滑に行



われることを期待する。

結びに、入札に参加した２者においては、技術提案書の作成・提出に際しての熱意と技術力に対して敬意を表するとともに、その労力に深く感謝申し上げます。

令和5年3月

成田浄化センター整備事業者選定委員会  
委員長 関根 賢次